

単元名 【旧】私の仕事と生活時間

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 生活時間の有効な使い方について理解することができる。
 (2) 生活時間について課題を見付け、その解決を目指して、知識を活用して生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
 (3) 家族の一員として、家族との協力の視点から、生活時間の有効な使い方を理解し、その使い方を考え、よりよく工夫しようとする。

標準的な展開例

06090104_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 自分の成長を確かめ、家族の一員としてする仕事を考える。 ★自分にできる仕事を考えよう ○家庭科の学習を通して、分かったことやできるようになったことを話し合う。(言語活動) ○家庭で自分が関わって行う仕事を考える。 2 自分の生活時間を見直し、効率のよい時間の使い方や仕事の進め方を考える。 ★仕事を続ける工夫を考えよう ○自分の生活時間の使い方を振り返る。 ○自分の生活時間を見て、問題点を見付け、工夫できることを考える。 ○生活時間を有効的な使い方や、仕事を続ける工夫を考え自分のめあてをもつ。(活用)	・第5学年の学習を通して、できるようになったことを振り返らせ、更にできることを増やそうとする気持ちをもたせる。 ・p. 3「成長の記録」を参考にさせる。 ・次時まで実践する期間を設ける。 ・p. 63の表にまとめる。 ・時間を効率的に使うことで、家庭の仕事をすする時間を確保できるようにする。 【評】自分の生活時間を見つめる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・仕事を実践したことを基に考え、家庭で仕事が続けられるように促す。 ・6年生で行う学習全体を見通し、更に成長した自分の姿を想像させることで、家庭科学習への意欲化を図る。 【評】生活時間の見直しをする活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

本単元では生活時間の見直しをするとともに、第5学年の家庭科の学習の成果や、自己の成長に気付くようにすることが大切である。自分の課題を見付け、よりよい生活ができるようにする。言語活動としては、第5学年の家庭科の学習を通してできるようになったことの振り返りの場面で、話し合いを取り入れ、多くの視点から自分たちの成長に気付かせることができるようにする。

本単元の学習は、第5学年の家庭「わが家にズームイン!」、第3学年の保健体育「けんこうな1日の生活のしかた」の内容が関連するため、それを踏まえた指導が必要である。